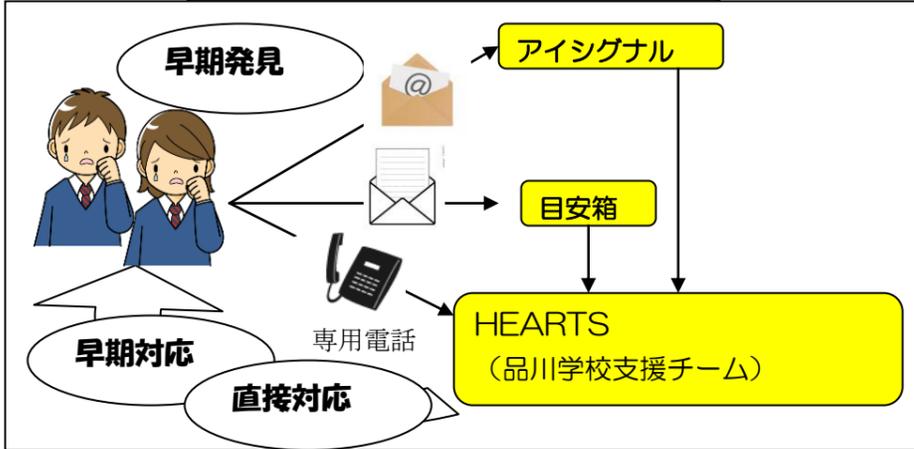
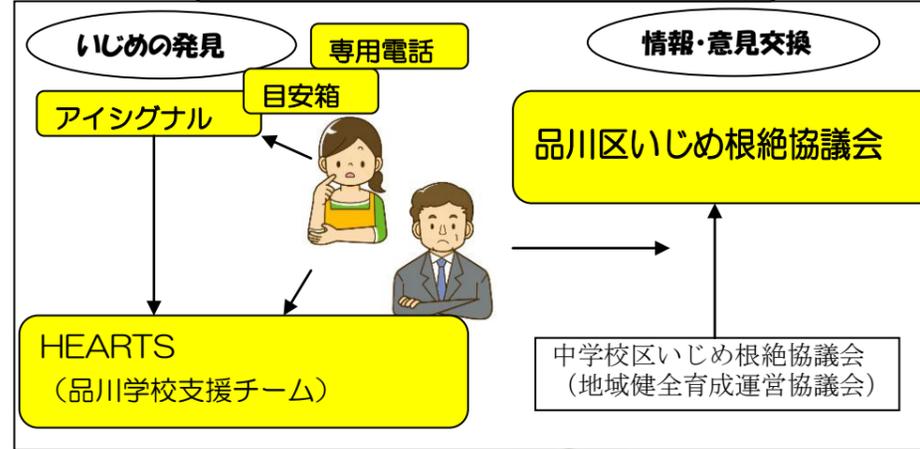


平成25年度 品川区におけるいじめ対策

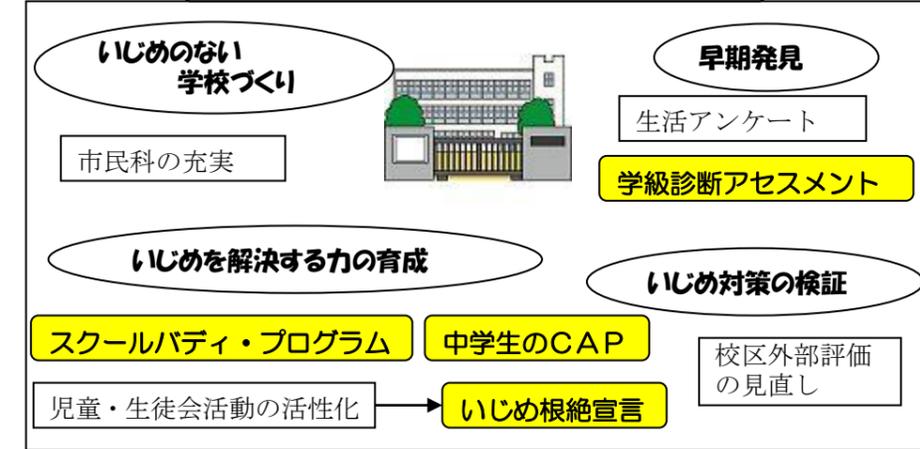
いじめられている子どもへの支援



地域・保護者による支援体制の構築

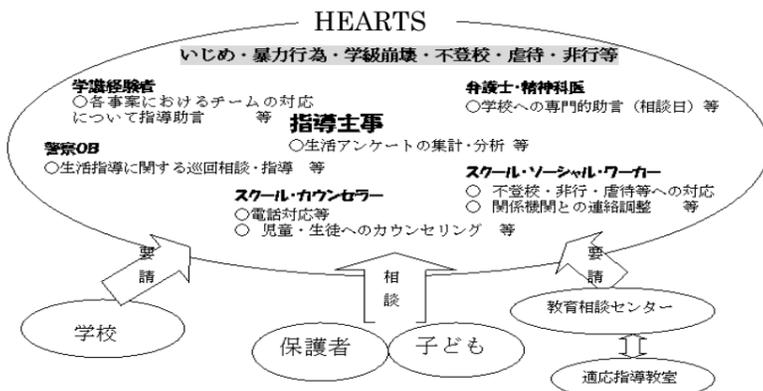


学校の対応



HEARTS (品川学校支援チーム)

○いじめをはじめとする、不登校や虐待等、学校だけでは解決が困難なケースに対して、チームによる支援により早期解決を図る。



【主な通常業務】

- いじめに関する相談への対応 ・「アイシグナル」への対応
- 目安箱の確認及び対応 ・不登校・虐待・非行等へ対応
- 生活アンケートの集計 ・分析に基づく学校への指導
- 関係諸機関との連携調整 ・生活指導に関する巡回相談・指導
- 学校へ専門的助言 ・学校訪問による情報収集 等

H elp (助ける)
E ncourage (励ます)
A ssist (手伝える) → HEARTS
R escue (救済する)
T eam
S hinagawa
(ハーツ・心)

目安箱

- 「HEARTS (品川学校支援チーム)」へのホットラインの一つ
- ・全学校に目安箱を設置し、いじめの被害、いじめに関する情報を収集、早期対応を図る。
- ・回収は、教育委員会が行う。

品川区いじめ根絶協議会

【設置の趣旨】

いじめの防止及び早期発見・解決のために学校・家庭・地域・関係機関との連携を強化し、品川区におけるいじめ問題の解決に資する。

【内容】

- いじめ問題に関する情報交換
- いじめ対策における各団体からの協力・支援について。
- 国の動向を踏まえ「いじめ防止に関する手引書」改訂に向けて意見交換

【開催回数】

- ・年3回

【委員】

有識者3名(専門家・大学教授等3)

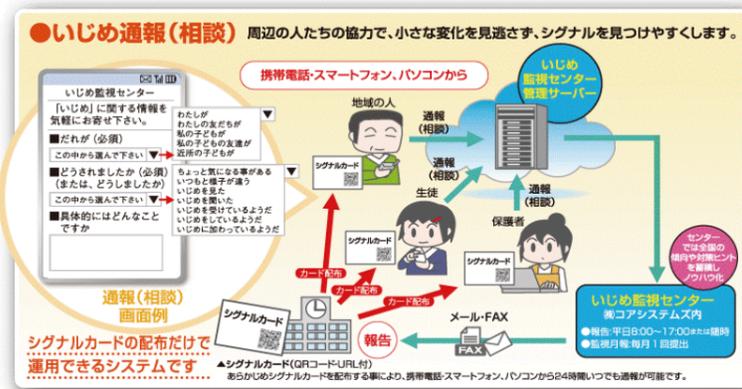
地域代表8名(品川区町会連合会1・地区委員1・民生委員1・主任児童委員1・保護司1・商店街連合会1・PTA保護者2)

関係官公署6名(児童相談所1・警察署4・大森少年センター1)

区教委5名(教育長・校長会長・校長会副会長・校長会健全育成担当等2)

アイシグナル(いじめ早期発見システム)

- いじめ早期発見支援システム(i@signal アイシグナル)の導入



スクールバディ・プログラム

- 「いじめ防止プログラム」をモデル校へ導入
- 児童・生徒自らが主体となり、支え合いのシステムを作ることにより、いじめを未然に防ぐなど校内の問題解決に自ら取り組む児童・生徒会活動の育成

【内容】

- ① ワークショップ
いじめをなくそうとする意識と行動化する意欲を高める。
- ② スクールバディ・トレーニング
スクールバディ活動による自治組織を創設する。

中学生のCAP

- 小学校で実施している、子どもへの暴力防止対策(CAP)の中学校版をモデル校に導入(自らの権利を守れる生徒を育成)

学級診断アセスメント

- 学級診断アセスメント(学級風土調査、hyper-QU等)をモデル校に導入
- 学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足感、対人関係スキル等を測定することで、いじめなどの侵害行為を受けている児童・生徒の早期発見、防止を図る。

いじめ根絶宣言

- 品川区の全公立学校におけるいじめ根絶に向けた決意表明
- ・教育委員会での制定と各校の独自宣言

小中一貫の日

- いじめ根絶のために「小中一貫の日」を設定(6・11・2月の第1水曜日)
- 6月:全小学校教員による中学校の授業参観及び中学生に関する情報交換
- 11月:全教職員対象のいじめ防止研修
- 2月:全中学校教員による小学校の授業参観及び小学生に関する情報交換